

今を変えない限り、未来は変わらない

昨年のラグビー・ワールドカップイングランド大会で活躍し、一躍時の人となった五郎丸さんですが、実はワールドカップ出場は今回が初めてでした。2011年大会では代表合宿に招集されるも、メンバーに選出されませんでした。当時日本代表を率いていたのは、ニュージーランド出身のジョン・カーワン・ヘッドコーチ（通称JK）でした。以下は朝日新聞夕刊（2015.12.3）よりの引用です。

11年大会に向けた代表合宿。1対1のミーティングで、JKはホワイトボードに「未来・現在・過去」と書いた。「五郎丸、過去は変えられるか?」。もちろんノーだ。「では未来は?」。それならイエスと答えると、JKはさえぎるように語り始めた。

「違う。お前が変えられるのは現在だけだ。今を変えない限り、未来は変わらない」

その時は「なんだかひっかけ問題みたいだな」とも感じたが、やがてその言葉を自らの力で現実のものにする。…（中略）…現地紙が「史上最大の番狂わせ」と報道した勝利。だが自身は試合の1週間前には、「勝てる」という手応えをつかんでいたという。

「JK時代の代表では、自分の努力が足りなかった。先を見ずに一日一日、一瞬一瞬をしっかりと積み重ね、この4年間の『現在』を変えた結果が、南アフリカ戦なんです」

つまり目の前のことを100%やりきることだけが未来を変える方法だ。「世界一の練習」と胸を張るハードワークを耐え抜いた自信を確信に変え、日本代表はラグビーの新しい歴史を作った。

もちろん、ハードワークに代表される後任エディ・ジョーンズ・ヘッドコーチの指導もあってのことですが、五郎丸さん飛躍のきっかけは、実はその4年前の代表合宿にあったのです。

今春の卒業生は、「卒業式後が勝負!」を合言葉に、最後まで頑張り続けて、合格を勝ち取りました。国公立大はもちろん、関西大・武庫川女子大などでのうれしい合格もありました。『サンデー毎日』『週刊朝日』といった週刊誌では、全国大学合格者数ランキングが掲載されるのですが、ここ2年2位であった大阪経済大でついに1位を獲得しました（追手門学院大学も1位）。本校独自指標である**Next11**において、輝かしい実績を残せたことは、35回生が頑張りぬいた一つの証です。これは卒業生が自分の第一志望にこだわり、追い求めた結果だといえるでしょう。また「現役生はセンター試験後も学力を急激に向上させる」とよく言いますが、そのアドバイスに素直に従ってくれた結果だともいえるでしょう。合格報告の電話を受けて職員室で拍手が起ったり、直接西高へ報告にやってくる、生徒と先生が涙を流すシーンもあったり…。本当に美しい光景でした。

36回生の皆さんは先月の「合格者の話を聞く会」では、大きな刺激を受けたことでしょう。「朝早起きして勉強した」「部活動で忙しくても、すきま時間を有効に使った」……。まさしく、「今を変えない限り、未来は変わらない」のです。

36回生の皆さんの進路実現に向けて、ともに頑張っていきましょう。

Next 11 [ネクスト・イレブン]について

Next の意味には、「西高卒業後の次の進路」という意味と「第一に国公立大を目指す、その次に進学先として考える私立大学」という2つの意味があります。具体的には、関関同立・産近甲龍（関西大・関西学院大・同志社大・立命館大・京都産業大・近畿大・甲南大・龍谷大の8大学）に、大阪経済大・大阪工業大・関西外国語大を加えた、11大学を言います。

進路指導部とは

進路指導部は、進路ガイダンスや進路講演会の企画・運営、進路情報の提供、インターンシップ・就職指導など多岐にわたりますが、みなさんの進路実現のサポートをする部です。担当者は以下の通りです。

進路指導部長	Y・M
就職・進学担当	I・A
進学・就職担当	J・A
進学・就職担当	J・H



合格体験記

次の文章は今春本校を卒業した第35回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。

進学 徳島大学

自分の成績がどれだけ上がるかは、やはりどれだけ本気になれるかどうかだと思います。意識して本気になるというのはなかなか難しいので、きっかけは必要だと思います。きっかけは人それぞれいろいろありますが、ないという人は同じ大学を志望している人が身近にいる場合、その人に絶対に負けないという気持ちでやってください。ライバルの存在は自分の成長に大きく関わると思います。

進学 関西大学

たぶん後期まで受けようか悩む人はたくさんいると思いますが、絶対受けた方がいいと思います。めちゃくちゃしんどいと思いますが、そこで諦めてしまえば、長い人生の中のたった1ヶ月で一生涯の後悔になってもおかしくないと思うからです。もしあの時受けていれば受かっていたかもという考えがないようにしてほしいです。

「あすなろ」の名前の由来

人にはそれぞれに将来の夢や希望があります。「進路」とは、将来こんな生き方をしたい、こんな職業に就きたいという自分の将来像に向かって進むべき道のことです。自分の将来像を実現していく強い思いを、ヒノキ科の植物**あすなろ**の「明日はヒノキになるう」という名前の由来に託しています。